

# 行政視察 報告書

総務文教委員 立石幸徳



みらいを、盛り起こせ

奈義町

## 岡山県 奈義町 少子化対策

～町全体での子育て～



No.1

令和5年10月31日 実施

# 1. 調査目的

岡山県奈義町「子育て支援施策」について

# 2. 調査内容

(1) 出生率増加への取り組みについて

(2) 奈義町独自の子育て支援施策について

① 子育て支援施設「なぎチャイルドホーム」

(2) 安心して産み育てられるまちづくりについて

# 3. 調査の要点

・ 子育て支援予算は

2015年度 約 8,700万円

2016年度 約 1億2,540万円

2023年度 約 9,000万円

凡そ一億円前後で推移しているが、

大半が町の単独事業である。

\* 財源捻出のため、

・ 町職員数を120人から88人へ

32人削減

・ 町議会議員数を14人から12人へ削減

# 4. 結論(まとめ)

・ 子育て支援は、経済的支援ではない。

・ 子育ては、町ぐるみ、町全体で取り組むことが最も大事である。

## 奈義町の主な子育て支援策

事業	内容
出産祝い金	第1子10万円、第2子15万円、第3子20万円、第4子30万円、第5子以降40万円を支給
不妊治療助成	県指定の医療機関で特定不妊治療を受けると、年20万円を限度に県の助成を引いた額の2分の1を通算5年間助成
妊婦・乳幼児健診	妊婦健康診査を14回まで公費負担
乳幼児、児童、生徒医療費助成	高校生までの子どもの医療費のうち、保険診療にかかわる自己負担分を町が負担
やすらぎ福祉年金	中学3年生までの子どもを養育するひとり親に年5.4万円支給。第2子以降は1人増すごとに2.7万円加算
保育料多子軽減	保育料を第1子で国の基準の55%、第2子で半額、第3子以降無料
在宅育児支援手当	幼稚園入園前までの子どもを在宅で育児する保護者に1人当たり月1万円を交付
病児、病後児保育	小学校3年生までの病児、病後児を個人負担2,000円で保育
つどいの広場「ちゅくしんぼ」	利用無料で子育てアドバイザーが相談受付
子育てサポート「スマイル」	小学校3年生までの子どもをなぎチャイルドホームか子育て援助者の家庭で預かる。自己負担1時間300円
高等学校就学支援金	高校生の就学支援で通学費の一部を含め、年9万円を3年間支給

出典：奈義町「定住・子育て支援対策」

No.2

子育て世代グループトーク

# 子育てのまち 奈義

子育て世代にやさしい風土と  
町の取り組み。

子育て中のお母さんたちに  
暮らしや子育てに関する  
奈義町のやさしい魅力について  
語っていただきました。

Nagiのいいとこ  
places and features  
of NAGI

動画で  
いいとこ体験



参考資料  
①



## 世代を超えて地域全体で 子育てを支える

二宮：奈義 私は倉敷から越してきたんだけど、奈義町はとにかく自然が豊か。町内では牛や馬が飼育されていて、「生きた自然」に触れる機会がたくさんある。星もきれいで、それだけで子どもたちは大はしゃぎ(笑)。こういう環境で子育てできるのは、子どもにとってもいいことだと思うな。

藤野：お散歩する時も、すぐそこに自然があるし、車がビュンビュン通るわけじゃない。奈義町だからこその安心感はあるよね。

園武：そして地域の人たちも温かい。歩いてたら気さくに挨拶してくれるし、時には子どもを抱っこしてくれることも。地域との距離感が近いのも奈義町の魅力。

柴田：私は生まれも育ちも奈義町だから、それすごくわかるな。地区ごとの催しがあったり、近所づきあいも盛ん。教育の場では幼稚園から中学校までずっと一緒だから、一体感もある。「地域のつながりの強さ」は奈義の魅力だよな。

藤野：確かに。私はチャイルドホームを週に5回も利用するんだけど、ここに来たらみんな顔見知り。育児で困ったことがあれば、真っ先にスタッフに相談するほど。ここがなかったら本当に困る(笑)。

園武：私も！気付けばほぼ毎日、チャイルドホームに通っている(笑)。

二宮：ここでは自主保育「たけの子」という活動もしているよね。親と子どもが一緒になって芋掘りしたり、料理をしたり。こういう催しって、保育園等に入ったら見られないから、親子で体験できる貴重な場でもあるよね。

柴田：そして何より子どもから大人まで誰でも気軽に利用できる環境がいい。

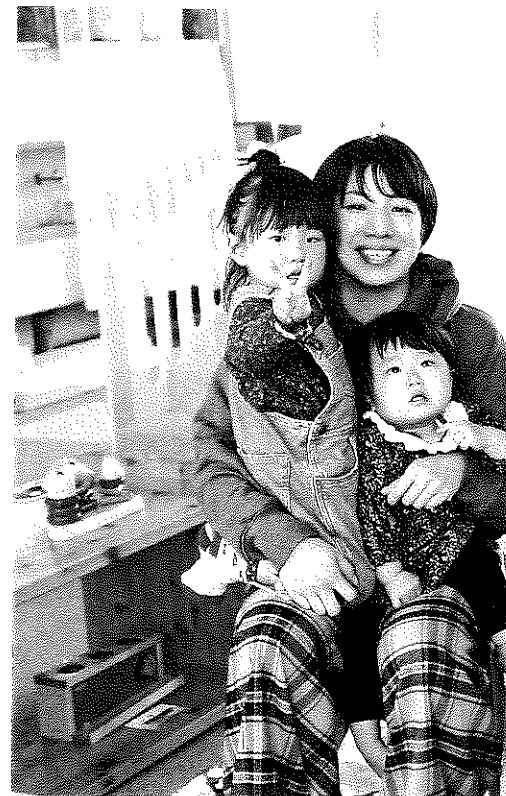
藤野：夏休みや冬休みには、小学生が遊びに来るんだけど、息子たちは小学生と遊ぶのが楽しくて、楽しくて。年齢関係なく交流がもてるのは魅力だよな。

園武：小学生のお兄ちゃん・お姉ちゃんの姿を見て、子どもたちが成長してくれる。そしてお兄ちゃん・お姉ちゃんは下の子たちの面倒を見てくれる。時にはケンカになる場面もあるけど、スタッフの方が的確なアドバイスをくれる。子どもと親の1対1の子育てじゃなく、地域全体で子育てをしている。それを奈義町に来て実感しています。

## 奈義町独自の手厚い 制度に助けられる

園武：初めての子育てが奈義町だから他と比較ができないけど、周りからは「奈義町は制度が手厚いよ」ってよく聞くよ。

藤野：無料で受けられるワクチン接種の数が多いし、おたふくかぜなど法定外予防接種も全額援助。自宅で子育てする家庭には在宅育児支援手当もある。金銭面でのサポートは本当に手厚いよね。



柴田：高校生まで医療費が無料だし、高校になったら3年間支給される就学支援手当もある。出産前から高校卒業まで、切れ目ない支援はとても助かる！

藤野：あと、奈義町に住んで感じるのが、子どもさんが多いってこと。周りには3人兄弟が多いかな。

二宮：保育料や預かり保育の利用料が2人目は半額、3人目以降は全額免除。子どもを産みやすい環境が整っているのは、本当に



心強いこと。安心して子育てできる行政支援は奈義町だからこそその強みだよね。

## 働きやすい環境も積極的に整備

柴田：みんなは仕事ってどうしているの？

鷹取：私は奈義しごとえん(P.19)に登録して、仕事を紹介してもらっているよ。ちょっとした空き時間を使って仕事ができる気軽さ、自分の

ベースで利用できる手軽さが魅力。なかには在宅ワークもあるから、子育て中でも安心して働くことができたよ。

二宮：私も奈義しごとえんに登録してる！私がしたのは境内掃除。久々の仕事は新鮮だったし、何より育児の息抜きになった。子どもとずっと一緒だったら、やっぱり1人の時間がほしくなったから(笑)。

鷹取：わかる！たった1時間でも自分だけの時間があるとリフレッシュできるよね。それが



國武さん

子ども：2人  
奈義町歴：4年



柴田さん

子ども：1人  
奈義町歴：27年



鷹取さん

子ども：2人  
奈義町歴：6年



二宮さん

子ども：2人  
奈義町歴：1年

たとえ仕事でも(笑)。

柴田：奈義しごとえんには、メンバー同士で子どもを預かる「こもりん」というサービスがあるから、仕事に集中できる環境が整うのもいいよね。

國武：私は鳥取から越してきたから、頼れる親や親戚が近くにいないけど、地域全体で支え合う仕組みが整うのはとても心強いな。初めての土地での初めての育児が、奈義町で本当によかったと思っています。

## 子育て等支援施設 なぎチャイルドホーム

保育園だった建物を子育て支援施設として開放。相談や情報交換ができるつどいの広場「ちゅくしんぼ」、親子で楽しむ自主保育「たけの子」、子どもを一時的に預る「すまいる」など、施設での活動内容・支援は様々。誰でも利用できるため、「地域住民の交流活動」も盛ん。世代を超えての交流が育まれています。



## みんなのおうち ぽっかぽか

みんなのおうちぽっかぽかは、障がい児(者)の居場所として平成29年5月にオープンしました。毎週日曜日の10時～16時まで楽しくふれあい、定期的イベントも行いながらゆっくりした時間を過ごしています。障がいがあってもなくても居心地のいいみんなのおうちです。



参考資料  
②



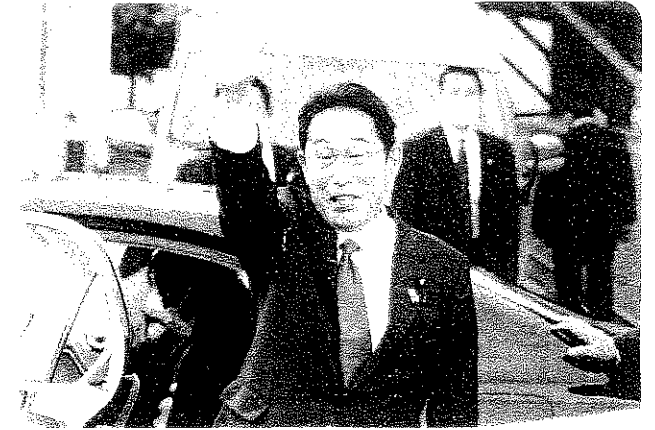
広報 なぎ

# NAGI

号外

Public Relations Magazine

令和5年2月22日 奈義町役場情報企画課



## 岸田総理大臣 奈義町を視察

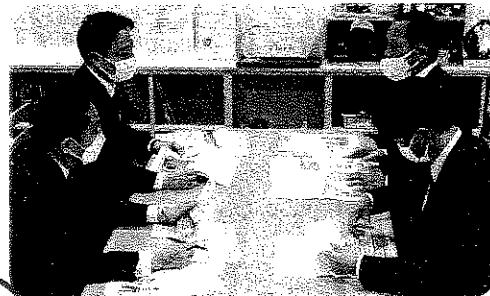
～異次元の少子化対策実現へ 町の取り組みを視察～

合計特殊出生率

2.95

令和5年2月19日(日)、<sup>きしだふみお</sup>岸田文雄総理大臣、<sup>おぐらまさのぶ</sup>小倉将信こども政策担当大臣や伊原<sup>いばら</sup>木隆<sup>きりゆうた</sup>太岡山県知事、国会議員らが奈義町を訪問し、「なぎチャイルドホーム」「奈義しごとえん」や文化センターで上演された[こども歌舞伎]を視察し、図書館で子育て中のお母さんや子育て関係者と「こども政策対話」を行いました。

岸田総理大臣が取り組む、少子化対策の参考とするため、地域ぐるみで子育てを行っている奈義町が選ばれ、実現しました。



資料

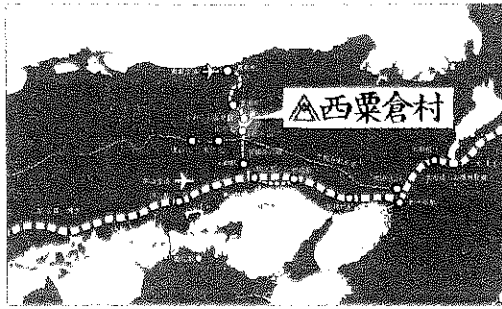
住民投票で「単独町政」を選んだ本町が、一貫した歳出削減と施策の見直しを行い、20年間かけ子育て支援施策を拡充してきた取り組みが高く評価されました。

政務調査報告書

日時：令和5年11月1日  
調査目的：ローカルベンチャーについて  
調査地：岡山県西粟倉村

(立石孝徳 報)

西粟倉村の紹介



brighten our forests,  
brighten our life,  
brighten our future!!

人口1,464人/1697世帯  
高齢化率36.2% (R2.3)  
人口1,444人/1616世帯  
高齢化率36.8% (R2.3)  
人口1,416人/1607世帯  
高齢化率37.0% (R3.3)  
人口1,384人/1597世帯  
高齢化率37.4% (R4.3)  
人口1,355人/1594世帯  
高齢化率37.9% (R5.3)

- ・面積：57.97km<sup>2</sup> 内97.6%が森林(53,62ha) そのうち83.6%が人工林
- ・標高：263m~1280m
- ・気候：年間平均気温11度、年間平均降水量約2000mm
- ・予算：令和5年度一般会計予算 約41.3億円
- ・交通：車で岡山県庁2時間、津山市1時間、鳥取県庁50分、鳥取空港50分  
神戸1時間30分(高速) 大阪2時間(高速)  
特急→新幹線で東京まで 最短 4時間30分  
鳥取県・兵庫県と隣接する因幡街道筋(山陰・山陽の動脈)

1. 西粟倉村の現状について

- ・人口は減っているが世帯数は維持。今後増加傾向
- ・2006年に始まったローカルベンチャー1400人に満たない小さな村を、これまでに16年間に52の事業誕生、小さな村の可能性が見えてきた。
- ・百年の森林構想により多様なL.V(ローカルベンチャー)の出現。

2. ローカルベンチャーの認定事業者選定について

- ・何よりも熱意を最優先で判定する。

3. 地域おこし協力隊(制度)の活用

現在 51人の協力隊員

- ※ ローカルベンチースクールを経て起業・起業型(5人)
  - ※ 行政課題解決のプレイヤー・行政連携型(7人)
  - ※ 地元企業の新規事業・事業拡大のプレイヤー・企業研修型(30人)
- 他 9人

4. 感想 意見

本市も地場産業を中心とした新しい地域産業おこしを検討すべきである。

5. 調査における大事な3つの言葉

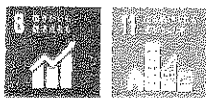
- (1) 大きくおぼり 広くする。
- (2) 自分が興味をもつものを事業化する。
- (3) 目標をしっかりとデザイン化する。

brighten our forests,  
brighten our life,  
brighten our future!!

# 百年の森林に囲まれた 上質な田舎を実現する ローカルベンチャー

地方創生の取組

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



©2023 WIP Mchikawakura Office

生きるを楽しむ



SDG未来都市  
西栗倉村

約様な発展を遂げた村の事業  
↓  
百年の森林構想の中で

- ・バイオマス
- ・小水力発電
- ・太陽光発電
- ・林業
- ・木材製材
- ・木製品加工
- ・建築/土林
- ・アパレル
- ・教育/福祉
- ・テクノロジー研究
- ・特産品
- ・飲食店
- ・観光施設
- ・地域新電力
- ・EV/モビリティ

## 18年間の変遷

2004	地域再生マネージャー事業（～2007） 合併協議会離脱＝自主自立の決意
2007	雇用対策協議会 設立
2008	百年の森林構想着想
2009	百年の森林事業開始 ㈱西栗倉・森の学校設立
2013	除菌マシナリ都市選定
2014	バイオマス産業都市選定
2015	ローカルベンチャー開始
2016	㈱WIPと合併協議会設立（共同事業）＝ 地方創生事業着手 ㈱西栗倉・森の学校 A0㈱分社
2019	SDGs未来都市認定（モデル）
2021	TAKIPI 認定開始
2022	認定優良地域・モデル市町村選定

地域活性化へ＝総務省：アミタ㈱  
住民アンケート結果により決断

地域外から人材を獲得する取組み

フラッグシップ戦略（～2025年）

百年の森林事業の川下事業  
を推進

フラッグシップに共感する  
若者の移住

地域のプレーヤーを呼び込  
み、移住

「持続可能な地域」実現の取組

ローカルベンチャーの第2フェーズ

※ 産業の創出が大事である。

（意見感想）

まさに 小さな村の

大きな挑戦である。

No.2